

ブラジル通信第1回

2022年の7月から9月末まで玉東町でグローバルプログラム研修をさせていただきました森 大晴です。現在はブラジル、パラナ州のロランジアという町で活動しています。その町の7歳から12歳までの子供たちに野球を教えています。ブラジルは日本の地球の裏側に位置し、日本とはかなり離れている国ではありますが、ブラジルには世界で1番多くの日系人が暮らしており、スーパーでは日本食が売られていたり、サンパウロ市には全47都道府県の県人会があつたりと距離こそは離れているものの日本を身近に感じることのできる国です。私が今暮らしている町にも戦前ブラジルに移住した人々の子孫の方々が暮らしており、日本で働いた経験のある方も多く、日本語が話せる方もたくさんいます。

2023年1月30日にブラジルに到着したのですが、まずは1か月間、サンパウロ市で研修を行いました。

1か月間の研修期間のうち前半はJICA事務所内で安全対策や健康対策に関するオリエンテーション、後半は語学学校での語学訓練を行いました。ブラジルではポルトガル語が話されていますが、これが難しい！英語に比べると動詞の変化が多く1つの動詞が20通り以上にまで変化します。

1か月間サンパウロ市で過ごしたのですが、とにかく雨が多かったです。そして雷もすごかった。私がいた時期のサンパウロは日本で言う梅雨のような感じを受けました。昼下がりにになると突然暗くなり、土砂降りの雨が降ります。気温は日中30度以上まで上がりますが、朝晩は半袖では肌寒いほどまで気温が落ちます。日本はこれから暑くなっていきますが、私がいるブラジル南部の町はこれから寒くなっていきます。ブラジルといえば年中暑いイメージをお持ちの方も多いかもしれませんが、ブラジル南部では日本ほどではないらしいですが、冬は寒くなるようです。南半球のため季節は日本とは逆になります。

第1回の今回は簡単にブラジルのことを紹介してみました。次回からは私が活動している町のことや活動内容、日本にはないブラジルの食べ物や飲み物など写真も使いながら紹介していきたいと思います。



写真：サンパウロの街並み



写真：ブラジル流(?) 量り売りレストランでの食事